



2022年3月31日
大会事務局

公式通知 No.9

JP250 クラス宛

JP250 特別申請車両追加について

2022年1月31日に日本モーターサイクルスポーツ協会より発表された「2022 国内競技規則 JP250 技術仕様の規則追加について」のとおり、以下の車両を新たに参加車両として追加する。

●追加特別申請車両

KTM RC390 (2014-2016)、(2017-2021)

●追加特別申請車両に関する規則の追加箇所 ※赤字部分

1) 出場車両

1. 出場車両

一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認した車両およびJP250特別申請車両でなければならない。

※JP250特別申請車両 ヤマハ YZF-R3 BMW G310R、KTM RC390

2) 最低重量

3. 最低重量

3-6 トータル最低重量

車両	最低重量
単気筒200cc~250cc	185kg
単気筒250cc~300cc	195kg
2気筒	200kg
4気筒	220kg

※BMW G310R、KTM RC390は単気筒250~300ccクラス適用

3) 音量

4-1-6 音量測定の固定回転数と音量値

エンジン型式および排気量ごとに、エンジンストロークはほぼ同等と見なされるので、測定は下記固定回転数にて実施する。音量規定値は、105dB/Aまでとする。レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。

BMW G310R KTM RC390	5500rpm
単気筒200cc~250cc	6000rpm
2気筒	7500rpm
4気筒	10500rpm

4) エアクリーナー

7-3-29-1 ラムダクト (ラム圧) のない車両。

7-3-29-1-6

ヤマハ YZF-R3、KTM RC390 についてはラム圧の追加およびエアクリーナーボックスの改造は禁止される。
エアフィルター・エレメントおよび吸気ダクトは変更または改造、あるいは取り外すことが認められる。

以上